

品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを
証明する。



財団法人 建材試験
中央試験所長 黒
埼玉県草加市稲荷5丁



試験名称	木造建築用座付ナットのめり込み試験
依頼者	会社名：株式会社 カナイ 所在地：埼玉県八潮市西袋 717-1
試験体 (依頼者 提出資料)	<p>1. 接合具 名称：木造建築用座付ナット 商品名：スリーク座付ナットM12×38 用途：基礎-土台緊結用アンカーボルトの端部に使用 寸法：φ45×38mm (図-2参照)</p> <p>2. 軸組 土台：樹種；すぎ，寸法；105×105mm (図-1参照)</p> <p>3. 試験体数 7体 (うち1体予備試験体)</p>
試験方法	木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年度版)(企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター)の6章「試験方法と評価方法」に準じて行った。試験方法を図-3に示す。
試験結果	<p>耐力算定の基礎資料及び荷重-変位包絡線：表-1及び図-4 一定変位時の荷重及び荷重-変位包絡線：表-2及び図-5 荷重-変位曲線：図-6 破壊状況：写真-1～写真-6</p>
試験期間	平成22年 5月28日
担当者	<p>構造グループ 統括リーダー 高橋 仁 試験責任者 上山 耕平 試験実施者 中里 匡陽</p>
試験場所	中央試験所

表-1 耐力算定のための基礎資料

試験体		加力方法	降伏時 (0.4Pmax 時) *		2/3Pmax 時		Pmax 時		破壊状況
			荷重 (Py) kN	変位 (δy) mm	荷重 kN	変位 mm	荷重 kN	変位 mm	
記号	番号								
SZ	0	単調	14.9	4.5	24.9	14.5	37.3	30.0	座付きナットのめり込み 及びボルトの破断
	1	一方向 繰返し	11.4	6.7	19.0	22.2	28.5	30.0	座付きナットのめり込み
	2		9.0	2.8	15.1	19.5	22.6	30.0	座付きナットのめり込み
	3		12.1	6.7	20.1	20.9	30.3	29.5	座付きナットのめり込み
	4		12.8	5.5	21.4	17.7	32.1	29.1	座付きナットのめり込み 及びボルトの破断
	5		13.0	6.4	21.6	19.5	32.4	30.0	座付きナットのめり込み 及びボルトの破断
	6		14.8	8.3	24.7	19.5	37.0	30.0	座付きナットのめり込み 及びボルトの破断
	平均		12.2	6.1	20.3	19.9	30.5	29.8	
	標準偏差		1.93	1.84	3.19	1.52	4.79	0.38	
	変動係数	0.158		0.157					
	ばらつき係数	0.631	—	0.633	—	—	—		
	短期基準接合耐力 (Pot) kN	7.7		12.8					

- (注) 1. * 繰返し加力の試験体 (SZ1~6) では降伏耐力 Py が算出できなかったため、Py を 0.4Pmax 時の値とした。
 2. 短期基準接合耐力 (Pot) は、降伏耐力 Py 又は 2/3Pmax の平均値に、それぞれのばらつき係数を乗じて算出した値のうち小さい方とし、□に示した値である。

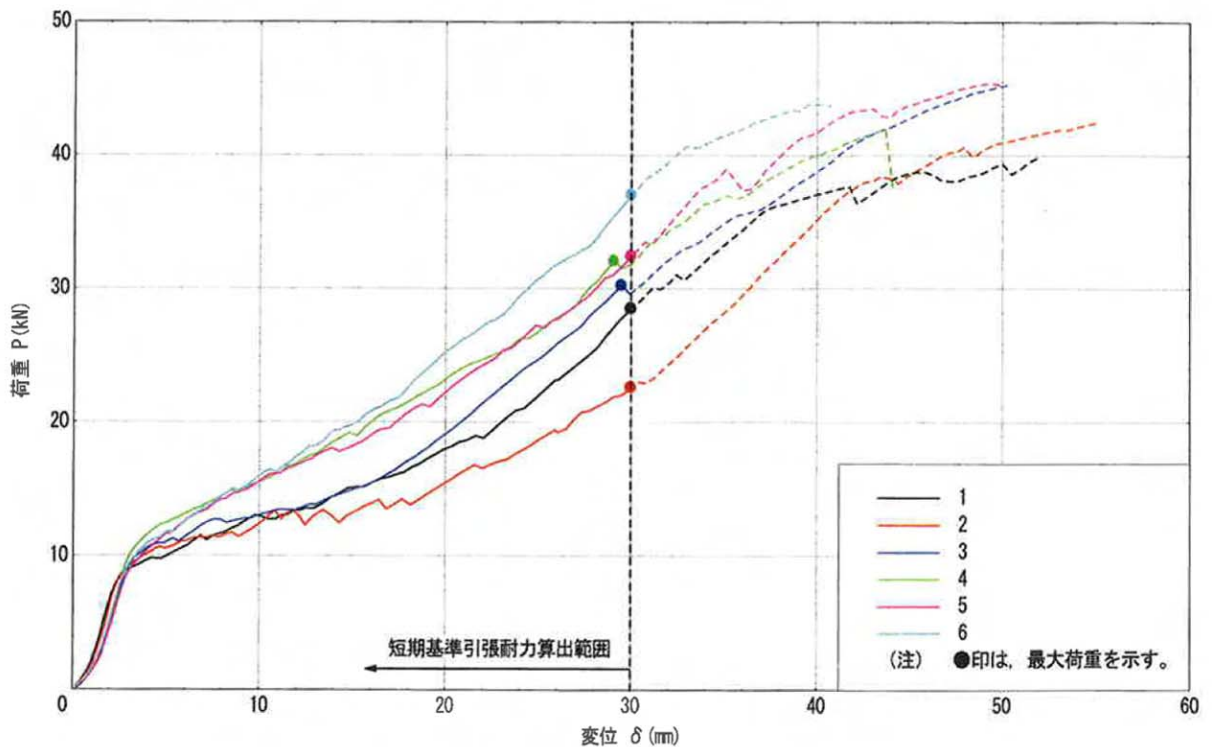


図-4 荷重-変位包絡線の比較

(財) 建材試験センター

品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを
証明する。



一般財団法人 建材試験センター
中央試験所長 黒木 勝
埼玉県草加市稲荷5丁目2番20号



試験名称	木造建築用座金付ナットのめり込み試験
依頼者	会社名：株式会社 カナイ 所在地：埼玉県八潮市西袋717-1
試験体 (依頼者 提出資料)	<p>1. 接合具 名 称：木造建築用座金付ナット 商 品 名：スリーク座金33 用 途：基礎-土台緊結用アンカーボルトの端部に使用 寸 法：φ45mm, 厚さ4.5mm, ねじ部；M12, 長さ33mm</p> <p>2. 使用軸組 土台：樹種；すぎ, 寸法；105×105mm</p> <p>3. 試験体数 7体（うち1体予備試験体） 参 照：図-1 及び 図-2（試験体の形状・寸法）</p>
試験方法	木造軸組工法住宅の許容応力度設計（2008年度版）（企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター）の6章「試験方法と評価方法」に準じて行った。試験方法を図-3に示す。
試験結果	<p>耐力算定の基礎資料及び荷重-変位包絡線の比較：表-1及び図-4 一定変形時の荷重及び荷重-変位包絡線：表-2及び図-5 荷重-変位曲線：図-6 破壊状況：写真-1～写真-6</p>
試験期間	平成25年11月15日
担当者	<p>構造グループ 統括リーダー 川 上 修 主 任 上 山 耕 平 (主担当) 庄 司 秀 雄</p>
試験場所	中央試験所

表-1 耐力算定のための基礎資料

試験体		加力方法	降伏時		2/3Pmax時		Pmax時		破壊状況
			荷重 (Py)kN	変位 (δ_y)mm	荷重 kN	変位 mm	荷重 kN	変位 mm	
記号	番号								
SZ-33	0	単調	15.3	8.0	20.9	16.4	31.3	30.0	座付ナットのめり込み
	1	一方向 繰返し	17.4	11.5	24.5	17.9	36.8	30.0	座付ナットのめり込み 及びボルトの破断
	2		13.9	4.6	16.7	6.5	25.1	19.7	座付ナットのめり込み 及び土台の割裂
	3		13.5	5.7	20.0	12.7	30.0	24.4	座付ナットのめり込み 及び土台の割裂
	4		17.8	7.2	26.9	19.1	40.4	30.0	座付ナットのめり込み 及び土台の割裂
	5		19.2	7.0	26.3	13.0	39.4	28.2	座付ナットのめり込み 及びボルトの破断
	6		18.0	6.9	23.1	13.5	34.6	30.0	座付ナットのめり込み 及びボルトの破断
	平均		16.6	7.2	22.9	13.8	34.4	27.1	
	標準偏差		2.35	2.35	3.92	4.48	5.88	4.21	
	変動係数	0.142		0.171					
	ばらつき係数	0.668		0.601					
	短期基準引張耐力 (Pot) kN	11.1		13.8					

(注) 短期基準引張耐力 (Pot) は、降伏耐力Py又は2/3Pmaxの平均値に、それぞれのばらつき係数を乗じて算出した値のうち小さい方とし、□に示した値である。

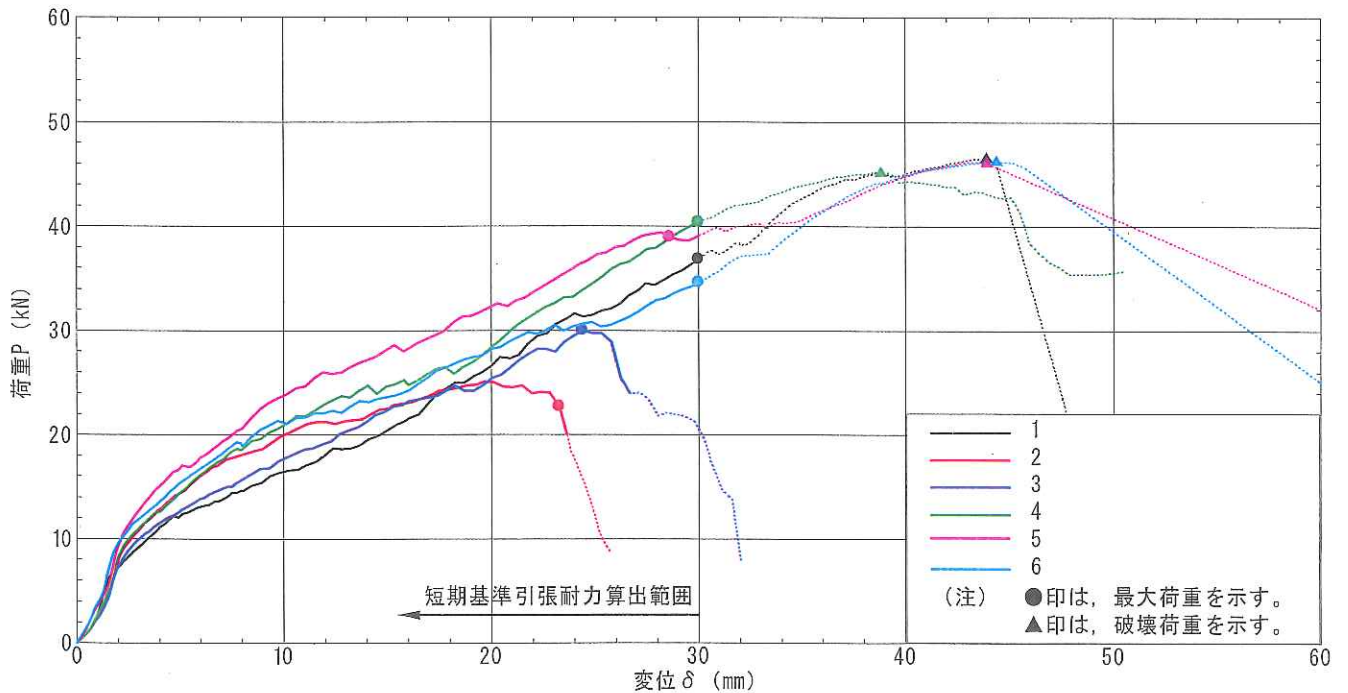


図-4 荷重-変位包絡線の比較